



緑西LETTER

vol. 8

緑西直言



「運命と地の利」

高井小児科

高井 徹 (H2年卒)

緑西会の皆様こんにちは、平成2年卒の高井です。5才の頃から西宮に在住で甲子園から離れたことはありません。高校の頃に自分の学力で手が届きそうな医学部を探していたところ兵庫医大の存在を知りました。その頃まで自分が住んでいる市に医科大学があるなんて全く知りませんでした。玉碎覚悟で受験したところ、受験者に頭の良い方が多数おられたためか入学辞退者が多数出てなんとか入学することが出来ました。兵庫医大は年を追うごとにどんどん難関校になっていっており、あの年に入学できなければおそらく医者にはなれていなかったと思っています。まさしく運命のお導き、兵庫医大には大変感謝しております。

そんなこんなでなんとか医師にさせていただき、17年前に親の後を継いで小児科医院を開業しました。中耳炎や湿疹など小児の疾患は他の科と連携してみてもいいことも多いのですが、近隣の先生方に支えられながら今に至っております。ここ数年は兵庫医大出身の先生方の開業も増えてきており、更に心強く思っています。

出身大学のお膝元である西宮市で開業していることもかなりのアドバンテージです。西宮市内で小児の二次救急をやっている病院はそれほど多くなく、夕方以降や休日の重症例は紹介に苦慮することがあります。そんなときでも、大学に電話すれば卒業生ということもあってか大抵は二つ返事で受け入れてもらえます(たぶん卒業生でなくても快く受け入れてもらえるのですが、そこは気のもんです)。兵庫医大に紹介させていただいた患者さんから感謝のお言葉を頂けることが結構あります。大学のカ

ラーなのでしょうか、卒業生の先生方は説明が丁寧で親身になって診療にあたってくれている印象があります。かつては新設医大というだけで毛嫌いな患者さんもいましたが、大学病院や地域医療における卒業生の活躍が評価をどんどん上げてきていると痛感しています。

日々の診療だけでなく、県や市の医師会における活動においても卒業生の先生方は頑張っておられます(何より、西宮市医師会会長は1期生の大江与喜子先生です)。うちの卒業生に世話焼きの人が多いかはわかりませんが、卒業生の先生方が要職に就き頑張ってくださいていることは出身大学の評価を上げるだけでなく他の卒業生の安心感にもつながっています。

大学病院で働いている時にはわからないものですが、関連病院に出向すると今までは大学という看板がいろいろなトラブルから自分を守ってくれていたことに気づきます。開業するとそういった後ろ盾はなくなるわけですが、その代わりに同窓生のつながりが色々と助けてくれると実感します。兵庫医大のネットワークが自分を助けてくれ、自分も微力ながら他の先生たちの役にたてる。いい歳したおっさんは流行語を使いたがるものですが、昨年ラグビーで有名になった「One Team」ってやつですね。

兵庫医大は年月を重ねるごとに優れた医師を輩出し発展を続けてきています。2年後には兵庫医療大学と統合し医療総合大学となる予定(collegeからuniversityになる?)です。卒業生の我々も日々研鑽し、大学とともに頑張っていきたいと思えます。

今の私の原点、兵庫医大



藤川クリニック

藤川 洋子 (H4年卒)

緑西会会員の皆様、平素は大変お世話になっております。平成4年卒15期生、JR甲子園口駅南すぐ、藤川クリニック院長の藤川洋子です。この度、令和2年緑西レター春号への投稿依頼をうけ寄稿させていただくことになりました。

この春号は新入生にも配布されると聞いております。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます、ようこそ兵庫医大へ。これから、沢山の学びや試練を乗り越えて行かなくてはなりません、昨今の医学部受験の厳しさを経験してこられた皆様ならば、部活動や趣味、遊びにもいそしみつつメリハリのきいた充実した学生生活を送られることと思います。頑張ってください。

さて、かく言う私はこの春で卒後28年、いつの間にか医師になってからの人生の方が長くなってしまいました。この場を借りて、どんな受験生・学生時代を送っていたのか、回想してみたいと思います。

私が入学したのは1986(昭和61)年。当時、私立医学部の難易度は今ほど高くありませんでした。高校卒業まで宝塚に入りたくて夢みていた私は、文系クラスで塾にも行かず、演劇部の部活動とバレエや声楽のレッスンに放課後～夜の時間を費やすという、およそ大学受験とはかけ離れた生活をしていました。父は歯科医、父方の親戚はすべて医師、いとこたちはみな医学部という環境で育ち「同じレールには乗りたくない」という反発心もかなりありました。でも、高校卒業時に全てをかけて臨んだ夢が叶わず(宝塚音楽学校不合格)、数日間放心状態になったのちの頭の中は「医学部に行こう」という思いに置き換わっていました。あんなに反発していたのに、なぜだか自分でもわかりません。

医専予備校は当時すでにあったかもしれないけれどメジャーではなく、近所の予備校に入学し勉強を始めました。でも、それまでまともに受験勉強をしたことがない私にとっては、何もかもがチンプンカ

ンプン。特に数学が訳わからず、家庭教師も併用しながら必死で勉強して迎えた受験シーズン。しかし、いくら今よりも難易度が低いとは言え、1年足らずの勉強で合格できる大学がそう簡単にあるはずもなく…そんな中何校か受験した医学部で、唯一合格できたのが兵庫医大でした。正規ではなく「補欠4番」だったのですが、割と早くに繰り上げ合格の連絡を頂きました。早速父に電話で報告をしたら、電話口で飛び跳ねているのがわかるくらい喜んでくれたことが思い出されます。

あの時、兵庫医大に拾い上げていただけなかったら、2浪、あるいは医学部をあきらめて別の道を歩んだかもしれない。今の私の原点、それが兵庫医大合格でした。

大学入学後は、1年生の一般教養科目には苦勞(数学・物理)しましたが、2年生から卒業まで再試には一度も引掛かりませんでした。講義は3年生以降臨床科目中心になってからはほぼ休まず出席、手前味噌ですがとても真面目な学生でした。そして車の免許・習い事・部活・お酒デビュー・旅行・食歩きなど、勉強以外にも多くの経験を積み、楽しい思い出ができた6年間でした。

卒業後医師となり28年、色々な事がありましたが、書きだすとノート1冊にはなりそうなので割愛、現在に至ります。平成19年に勤務医から開業医となり、大変!しんどい!と思うことも多いのですが、西宮で開業したことで母校兵庫医大との連携を密に取ることができますし、緑樹会・緑西会・医師会を通じて同窓の先生方との交流があり、大変充実した毎日を送っています。



劇団音芽本公演2018
『アンデルセン-影と光の詩』より
『ある母の物語』母親役



劇団音芽本公演2019
『HAMLET-en anden score』より
墮天使ヴェリネ役

そして私事では、開業後、西宮市医師会の同好会「宝塚歌劇愛好会」に入会し、長い観劇ブランクから脱出、今や観劇は生活の一部となっています。また、ママ友付き合いからの縁で15年前から声楽を再開、さらには声楽の先生を通じての縁で、一昨年・昨年と劇団音芽のミュージカルに出演する機会に恵まれ、沢山歌わせて頂きました。(写真①・②)滑舌や演技力を磨くため、1年前から月1回演劇ワークショップにも参加しています。高校卒業とともに潰えたと思っていた舞台に立つという夢が50代になって叶う

とは…本当に、人生何が起こるかわかりません。

以上、これまでのことを振り返ってみました。私が今大学受験生だったら、医学部に入ることはできなかったでしょう。時代・運・縁に支えられここまで来ました。これからどうするのか、どうなるのかは時の流れに任せようと思っています。欲張らず、でも漫然と流されず「来た船には乗ってみる」好奇心は失わず。今の私の原点、兵庫医大をいつでも眺められる西宮で頑張っけて参ります。今後ともよろしくお願ひいたします。

苦楽園建石筋で令和元年新規開業



大井クリニック 整形外科

大井 雄紀 (H16年卒)

令和元年7月1日に西宮市名次町に脳神経外科・整形外科をメインの標榜として開院致しました。事業主は父、大井静雄になります。

私は、兵庫医科大学を卒業後、卒後臨床研修も兵庫医科大学で受け、兵庫医科大学整形外科学教室に入局致しました。兵庫医科大学整形外科の吉矢晋一教授や関連病院の諸先生方のもとで一般整形外科を学んだ後、信原病院の信原克哉先生のもと、肩関節疾患について勉強・診療致しました(常勤2年、非常勤4年計6年間)。大学院では信原病院の投球動作解析に関する研究で博士論文を作成し、学位取得後半年間、アメリカのアラバマ州にありますAmerican Sports Medicine Institute (ASMI) というDr. James Andrewsのラボに留学致しました。そして平成31年3月末日、吉矢教授の退官と同時に大学を助教(外来医長)という立場で退職致しました。

当院の導入機器の特色として、MRIと単純レントゲンの透視台、DEXA、エコーがあります。0.3TのOpen MRIですが、日立製作所の現在の技術は進んでおり、細かい所まで異常信号を読み取る事が出来ます。信原

病院で学んだ関節造影が可能な透視台を導入し、肩関節造影により腱板断裂の診断、肩関節拘縮の治療に役立てております。DEXAは股関節、腰椎で測定出来る物を導入し、野球肘検診が出来ますようポータブルのエコーも導入しております。

リハビリ施設も充実しており、理学療法士によるスポーツ選手に特化したアスレチックリハからご高齢の変性疾患に至るまで幅広い層の患者さんに対応しております。

選手の痛みを緩和し、出来るだけ元の競技レベルまで復帰させてあげたいという思いからスポーツ整形外科の現場で、常にアスリートの気持ちを理解する事が心がけて診療しております。同時に整形外科医として診療していく中で、変性疾患に悩む高齢者と接する事は必至で、高齢者の筋骨格系疾患に対する治療のニーズがあり、重要である事は周知の通りです。ASMIで、大谷選手や田中選手が受けたPRPという再生医療についての講演を受け、腱付着部の炎症に効果がある事、更に進化したAPSという関節内注射によって、変形性関節症の治療として、手術までのタイムセービングが可能である事を学びました。厚生労働省にも認可され、その両方を当院で行う事が可能です。

地域に根差した治療を提供していきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

撫順 医院
内科・小児科・放射線科



深田 正代
(S58卒・軟式テニス部)
緑西の良心

霞町1-34 TEL: **22-1274**



ひらいクリニック
平井 康純
(H4卒・サッカー部)

学生時代から「平井のおっちゃん」
と呼ばれています。

南甲子園 1-1-1 TEL: **41-1456**

内科・循環器科・在宅診療

風川 医院



安田 雄紀
(H3卒/ラグビー部)



安田 尊子
(H11卒/ゴルフ部)

緑西の美女と野獣

門戸荘 18-19 TEL: **52-2018**



藤川クリニック
内科・循環器内科



藤川 洋子
(H4卒・空手部)

趣味♡観劇 (市医師会宝塚愛好会)
副業♡舞台 (劇団音芽)
頑張っています!!

甲子園口3-4-24 TEL: **67-0203**

ふじた内科クリニック
内科・循環器内科・消化器内科

藤田 雅史
(H5卒・スキー部)
趣味: ヨット、トライアスロン
“リョクニシのPrince”



西宮浜 4丁目 1 4-3
マリナヴィラ 1階 TEL: **35-1530**

在宅療養支援診療所
医療法人社団 **西岡医院**



副院長 **西岡 啓介**
(H7卒・アメリカンフットボール部)
「第1回緑西杯覇者・ツアー1勝」

樋之池町 27-38 TEL: **74-4430**
URL <http://www.nishiokaiin.com>

実行委員会より

1月18日、北口「花ゆう」で、はりはり鍋の水菜をシャリシャリつつきながら、喧々諤々、緑西会の未来を、吉岡・小串・平川・保科・安田・藤川・中尾・高田が、大いに話し合い。この3年間、確実に進化・拡大を遂げた道程を振り返り、こころで少し“原点回帰”へ。総会会場は、北口なでしこビル、芸文センター内レストラン等を候補に

新展開を考慮。盛況のゴルフについては昨年どおり。好評!・レターは一定の周知といった大役を果たし、来年度からは年一回にて更なる充実版の発行へ。総会・平川、ゴルフ・高田、レター・保科/濱岡、会計・中尾にて各責任担当致します。引き続き、皆さま、ご指導宜しくお願い致します!(敬称略)

兵庫医科大学同窓会緑樹会西宮支部

緑西会会員数 145名

(R2..3.1現在)

緑西LETTER

発行日/令和2年3月10日 発行人/大江与喜子

代表世話人/吉岡 優

印刷所/株式会社小西印刷所